

令和2年10月1日

主催者各位

(公財)京都市音楽芸術文化振興財団
京都コンサートホール

施設のご利用について
～新型コロナウイルス感染拡大防止のお願い～

京都コンサートホールでは、新型コロナウイルス感染拡大防止によるホールのご利用につきまして、以下のとおり、政府、京都府及び京都市の対応方針、並びに公益社団法人全国公立文化施設協会による「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」(令和2年9月18日改訂)を踏まえ、当面の間、ご利用にあたっての制限等を改定いたします。

ご利用を予定される主催者様につきましては、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

なお、本利用制限の内容は、今後の感染の動向のほか、政府等の対処方針の変更により、必要に応じて適宜改訂を行います。

利用日時点の利用制限が適用されますので、予めご了承くださいませようお願いします。

【事前周知】

公演を実施するにあたり、来場者に以下の内容を事前に周知・広報を行ってください。

- 1 マスクの原則常時着用。
- 2 手指の消毒や手洗いの徹底。
- 3 大声を出さないことの奨励、咳エチケットの実践。
- 4 会場における密を避けるためのソーシャルディスタンスの確保。
- 5 来場前に検温し、平熱と比べて高い発熱がある場合や以下の条件に該当する場合は入場できないことの周知。
 - ・咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状がある。
 - ・PCR検査で陽性とされた者と濃厚接触がある。
 - ・過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴、及び当該在住者との濃厚接触がある場合。
- 6 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)(自治体独自の通知アプリ、QRコードを活用したシステムを含む)について公演チラシ、ホームページ、公演当日の会場等に掲載し来場者に利用を促してください。

【会場入口】

- 1 入退場が密にならないよう、時差入退場や整理人員の配置するなどの策を講じてください。
- 2 来場者にはマスクの着用を義務つけてください。マスクを持参していない来場者には主催者側でマスクを配布し、着用を促してください。
- 3 平熱と比べて高い発熱がある場合や以下の条件に該当する場合の入場制限、返金チケット等は主催者で対応を行ってください。

- ・咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状がある。
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者と濃厚接触がある。
- ・過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴、及び当該在住者との濃厚接触がある場合。

- 4 会場入場時に検温等の対策を講じてください。非接触型の検温器の貸出を希望の場合は事前にホール事務所までお知らせください。
- 5 接触を回避するため案内スタッフによるチケットテイク、プログラム配布は行いません。スタッフが目視確認後、お客様ご自身でチケットの半券を切り取り、所定の箱にお入れいただき、プログラム等の配布物もご自身でお取りいただくようお願いいたします。
- 6 プレゼント、差し入れ、面会等は控えるよう、事前にご周知ください。
- 7 感染者が確認された場合に備え、主催者にて来場者の連絡先を把握し、必要に応じて保健所等への協力をお願いいたします。
- 8 ホール内のエレベーターの定員を4名までとします。

【ホワイエ・客席】

- 1 客席において大声での歓声・声援・唱和等がないことを前提とする公演については客席定員数の100%以内とします。但し、座席の最前列席は実演が行われるエリアから2m以上の距離を取ってください。それが困難な場合は、距離を置くことと同等の効果を有する処置を取ってください。
- 2 来場者が1,000人を超えると想定される公演については、事前にホールまでご連絡ください。
- 3 座席の配席については、原則として指定席にするなどして、主催者側で客席状況を管理調整できるようにしてください。但し、自由席で行うピアノ発表会や関係者対象の公演については、事前にホールにご相談ください。
- 4 座席に着席禁止等の掲示物をする場合は主催者側で行ってください。簡易的な掲示物であればホールより貸出いたします。
- 5 退場時にホワイエ・客席で密にならないよう時間差を設けて退場していただく等の対応を行ってください。
- 6 物販の実施は必要性を検討の上、実施する場合は密にならないよう整理要員の配置、飛沫感染防止策（アクリル板等）をお願いいたします。
- 7 コインロッカーに収納できないスーツケース等の大型荷物のみお預かりいたします。
- 8 託児室の利用、ブランケットの貸出、ドリンクコーナー、給水等一部サービスを休止いたします。
- 9 ロビーイベント・サイン会の実施はお控えください。

【舞台の使用・本番について】

- 1 舞台上の演奏者同士の間隔は、最小1m(できるだけ2mを目安に)を空けてください。
- 2 大声での発声や歌唱、近距離での会話、管楽器の演奏の際は、十分な距離を確保してください。また、アクリル板等で仕切りを設置する場合は主催者でご用意ください。

- 3 観客が接触するような演出（声援を惹起する、観客を舞台上上げる、ハイタッチをするなど）はお控えください。
- 4 密な空間を防止するため、仕込み・リハーサル・撤去等についての十分な時間設定をお願いいたします。
- 5 館内においては、こまめな手洗い、手指消毒をお願いいたします。

【楽屋エリアの利用について】

- 1 楽屋は、利用する人数の制限や座席配置など、密にならないように調整をお願いいたします。
- 2 出演者、スタッフはステージ上以外のバックステージ、楽屋等ではマスクの着用をお願いいたします。
- 3 楽屋利用時はこまめに換気を行ってください。
- 4 給湯室の備品は使用禁止とします。ケータリング等を用意される場合には、弁当等の個包装されたものとするほか、使い捨ての紙皿や紙コップを使用する等、感染予防策の徹底をお願いします。
- 5 楽屋エリアのエレベーターの定員を4名までとします。

【京都コンサートホールでの感染予防対策】

- 1 スタッフは毎回検温を行い、マスクを着用し、可能な限り発声を控え、手洗い、手指消毒を徹底しております。体調不良のスタッフは従事させません。
- 2 館内に手指消毒のための消毒液を設置しております。
- 3 お客様の手が触れる場所（扉、手すり、トイレ等）の消毒、清掃を開場から終演後まで徹底して行います。
- 4 ホール内は常時換気を行っており、休憩中は全扉を開放いたします。
- 5 ソーシャルディスタンス確保のため、案内表示やサイン等で注意喚起をしております。
- 6 テーブル、椅子、ソファなどの間隔を1m以上になるように配置しております。
- 7 「京都市新型コロナあんしん追跡サービス」に登録しております。

【新型コロナウイルス感染症専用電話相談窓口】

- ・電話番号 075-222-3421
受付時間 土・日・祝日を含む24時間
- ・英語・中国語の電話通訳について
電話番号 075-752-1166（京都市国際交流協会 行政通訳相談）
ただし、曜日・時間に限りがあります。
英語（English） 火曜日・水曜日・木曜日 午前9時～午後5時
中国語（Chinese） 水曜日・金曜日 午前9時～午後5時
※詳しくは京都市のホームページをご参照ください。

以上